

平成 29 年度 第 1 回 学校運営協議会 平成 29 年 10 月 4 日（水）19:00-20:20
～協議（意見交換）内容～

○学力について

- ・「あなたは基礎的な学力が身についていると思いますか。」の項目で生徒と教師の間ですれがあるのは、どの程度を基礎的な学力というのかが曖昧なのではないでしょうか。
- ・教師は教室全体を見ての判断で、生徒は自分のことで考えているので、すれがおこっているのではないのでしょうか。（学校）
- ・土曜スクールでは、できる生徒はどんどん勉強しているが、できない生徒は考え込んでいる。どのようにかかわっていけばいいのだろうか？テストの点数などを聞いて指導している。
- ・私語は少なくなっています。集中して取り組んでいます。
- ・今後、相互の情報交換ができればと思います。（学校）

○地域とのかかわり

- ・テレビでは暴力事件など放送されていますが、大原野中学校ではどうですか。
- ・ありません。授業も落ち着いて取り組んでいます。地域での取り組みなどが作用しているのではありませんか。（学校）
- ・中学生が地域に溶け込んでいるのが、大原野学区のいいところではないのでしょうか。人とのつながりもあり、母親同志も仲良くしている。
- ・区民体育祭にも中学生・高校生・若い人たちも参加していた。
- ・元気のない生徒には、声をかけたり、得意な分野を褒めたりして自信をもたせてほしい。それが、学校が楽しいということにつながるのでは。
- ・様々な活動、部活動などでの取り組みでメンタル面が強くなって、将来にもつながり、社会人になった時も役に立つ。
- ・子供達はゲームをよくしているが、しないと話題に入れないなどの理由がある。
- ・野外活動の時はゲームはしないで、みんなで活動する。そんな活動の影響で勉強にも力を入れていくのだろう。
- ・火など危険なことを避けすぎて、子供達ができなくなっているのでは？
- ・理科の授業でマッチがすれない生徒がいた。（学校）
- ・勉強ばかりしてきた人は確かに優秀だが、中にはコミュニケーションを苦手とする人もいる。勉強以外のボランティア活動などの体験を通して社会人に成った時の力をつけて行ってほしい。
- ・体験できる環境を作っていくのが大事ですね。
- ・学校の先生の長時間勤務、大変ですね。